

特集

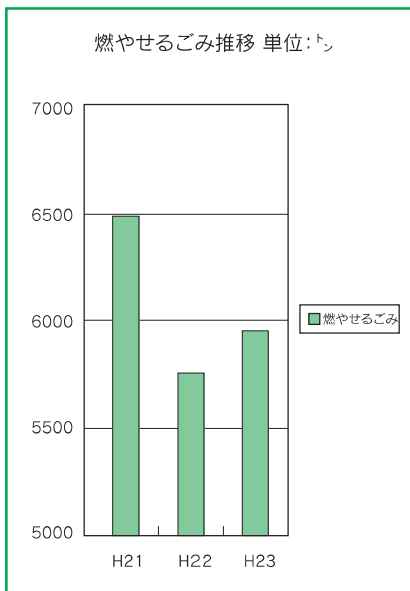
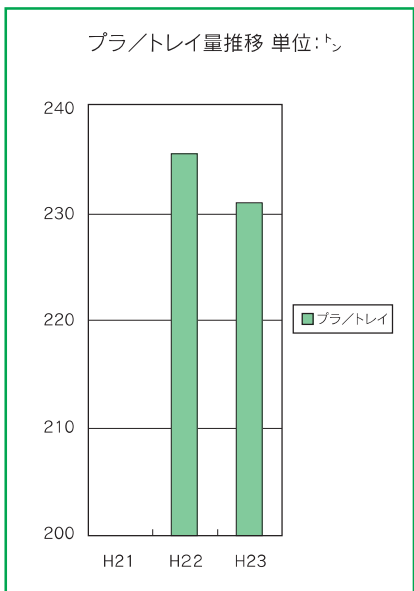
ごみを減らして地球温暖化を防止しましょう！

地球温暖化対策は、私たち一人ひとりが毎日の暮らしを見直すことから始まります。誰もができる最も身近な取り組みの一つがごみの減量です。現代社会は、大量生産・大量消費・大量廃棄を行うことで、多くの資源やエネルギーを使い発展してきましたが、その一方で地球温暖化につながる温室効果ガスを増加させてきました。

地球温暖化を防ぐには一人ひとりがごみを出さない工夫をすることが必要です。

燃やせるごみが 増えていきます

平成22年度からプラスチック製容器包装(1)／白色トレイの分別が始まり、平成22年度の燃やせるごみは平成21年度に比べて約11%減少しましたが、平成23年度は平成22年度に比べて燃やせるごみが年間約188トン(3.3%)増加し、プラ／白色トレイの収集量が年間約4トン(1.9%)減少しています。



地球温暖化防止のために私たちにできること

◆ごみをなるべく出さない生活を

不要なレジ袋や包装は断り、無駄な買い物は控えましょう。
繰り返し使えるものは使い、詰め替えできるものを選びましょう。

◆生ごみを堆肥化する

家庭で生ごみを堆肥化し、利用しましょう。
(町ではコンポスト容器や機械式生ごみ処理機購入費の一部を助成しています。)

◆アルミ缶、新聞ダンボールなどは、自治会や育成会等の廃品回収に出す

資源物として出すことにより、ごみとして廃棄するものが少なくなります。
(「資源物集団回収事業」は、回収量に応じて町が報奨金を支払う制度で、地域の活動資金の助けになります。)

◆生ごみを水切りする

生ごみにはたくさん水分が含まれています。余分な水分を絞ってから出しましょう。

◆「その他の紙」の分別を徹底する

お菓子やティッシュの空き箱などは、燃やせるごみではなく資源物の「その他の紙」の分別に出しましょう。

ごみの減量は、一人ひとりが日常生活で意識することが大切です。改めて自分のライフスタイルを見直し、ごみを出さない工夫を試みませんか。ほんの小さなことから始め、その工夫の積み重ねが地球温暖化防止につながります。



ごみ収集車の火災が 発生しました

4月に不燃ごみを収集中のごみ収集車から火災が発生しました。火災の原因はスプレー缶またはライターの混入とみられています。これらは不燃ごみではなく「危険ごみ」です。今後このようなことがないためにも、ごみの分別の徹底をお願いします。

「危険ごみ」はポリカゴに入れないで ください！

次の表の自治会は「危険ごみ」と「びん缶・ペットボトル」の収集日が重なります。そのため、「びん缶・不燃ごみ」をポリカゴで出す時に、「危険ごみ」も一緒に入れたままです出してしまうケースが目立ちます。「危険ごみ」は、その種類ごとにビニール袋に入れて「ポリカゴ」に入れて「ステーション」に出してください。

「危険ごみ」と「びん缶・ペットボトル」/「不燃ごみ」が重なる日

自治会名	収集日	ごみの種類
並木	第2水	びん缶・ペットボトル
中町	第1水	不燃ごみ
大町	第1水	不燃ごみ
上町	第1水	不燃ごみ
愛宕町	第1水	不燃ごみ
峰町	第1水	不燃ごみ
上蒲生北部	第3水	不燃ごみ
上蒲生南部	第3水	不燃ごみ
しらすぎ	第2水	びん缶・ペットボトル
上三川寮	第4水	びん缶・ペットボトル
白鷺寮	第4水	びん缶・ペットボトル
殿山寮	第4水	びん缶・ペットボトル
マロニエプラザ	第4水	びん缶・ペットボトル

ポリカゴの中に危険ごみが入った状態で不燃ごみ等を回収してしまつと、それらがごみ収集車の中で圧縮されつづかれます。この時に、スプレー缶やライターの中に残っていた可燃性のガスが漏れだし、他のごみとの摩擦などで発生した火花により引火し火災がおこります。

ごみ収集車の火災は、収集車や付近の住民や住宅等に被害を及ぼす可能性があるほか、場合によっては人命にかかわる大災害に発展するおそれもあります。そのような事態が発生しないためにも、ごみはきちんと分別してルールを守って出してください。

●危険ごみ(ライター スプレー缶 カミソリ 蛍光灯など)

種類ごとにビニールの袋に入れて出してください(ポリカゴには入れない)。

※ライター ↓ 中身を使い切り、風通しがよく火の気のない安全な場所でガス抜きをする。

※スプレー缶 ↓ 中身を使い切り、風通しがよく火の気のない安全な場所で穴をあける。

●不燃ごみ(なべやかん カサガラス コップ 小型電化製品(50cm未満) など)

ポリカゴに入れて出してください。

●ペットボトル

キャップやラベルをはずし中をすすいで、ビニール袋に入れて出してください。

危険ごみと不燃ごみはそれぞれ収集車が違うため、収集時間が異なります。危険ごみと不燃ごみが同じ収集日でも、危険ごみはポリカゴに入れないでステーションに出してください。

▼問い合わせ先

住民生活課 生活環境係

☎ 9131